

科目名	古 典	学 年	2 年	コ ー ス	全	単 位 数	3 単 位	担 当 者	
1	目 標 国語総合の古文編・漢文編で学んだ基本を確認するとともに、様々な古典作品にふれ、ものの見方、感じ方、考え方を深め、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。								
2	到達目標 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる力を習得する。 文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。								
3	成績評価の方法 定期考査（中間考査・期末考査・学年末考査） 授業中の確認小テスト（古文単語・古典文法・漢文用語・漢文句法など） 平常点（出席・態度・ノート・提出物など）								
4	学習者へのメッセージ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">古典を楽しむ</div> 何故、昔のことを勉強するのだろうか、とと思っている人いませんか？まずその考えを捨ててください。昔の人が何を感じ、考えて生活していたかを知るチャンスだと思って、古典学習を楽しみましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">辞書・便覧の活用</div> わからない言葉に出会ったら、めんどうだと思わず、辞書を引きましょう。英語と同じです。言葉の意味がわかったら、作品の内容理解にグッと近づきます。また、便覧をすみずみまで読みましょう。便覧は国語知識を増やす魔法の本です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">古文・漢文</div> 声を出して、繰り返し読みましょう。古文・漢文特有の言い回しを覚えていくことができます。古文は語彙数を増やし、自分の力で口語訳が適切にできるようになりましょう。漢文は助字（助詞・助動詞・置き字など）に注意して書き下し文に直し、内容を理解できるようになりましょう。どちらも時代背景や登場人物・筆者の考え方を知ることが大切です。								
5	使用教材 教科書「高等学校古典」(大修館書店) 副教材「体系古典文法」(数研出版) 「クリアカラー国語便覧」(数研出版) 「シグマ標準古文単語」(文英堂) 「必携明説漢文」(尚文出版)								
6	自己評価 1年間を振り返って到達目標を達成できたか、自己評価をして、今後の課題を明らかにしよう。 到達目標 [] [] [] 課 題 [] [] []								

A：十分，達成できた。 B：だいたい達成できた。 C：努力が不足した。

7 年間授業計画

月	単元(章,節など)	重点目標
4 、 5 、	説話(古文) 『沙石集』『今昔物語集』 故事成語(漢文) 助長・推敲・漱石枕流	古典に親しむ態度を育て、古人のものの見方や考え方にふれ、人間の生き方についての認識を深める。 各故事成語の意味を理解する。また、私達の生活の中で、中国古典に由来する語句が豊富に用いられていることを再確認し、自らの表現に生かす。
1 学 期 中 間 考 査		
6 、 7	随筆(古文) 『方丈記』『徒然草』『枕草子』 中国の史話(漢文) 『十八史略』(合従連衡)	古典の三大随筆の魅力にふれ、作者の感じ方・考え方を知り、時代との関わりについて理解する。 長文の漢文に読み慣れ、漢文を読解し鑑賞する能力を身につける。また、戦国時代の情勢を理解し、遊説家の蘇秦・張儀の生き方を読み取る。
1 学 期 期 末 考 査		
9 、 10 、	物語(古文) 『竹取物語』『大和物語』 中国の史話(漢文) 『史記』(漢楚の興亡)	「作り物語」「歌物語」の特徴をとらえる。また、登場人物の性格や心理の動きを正確に読み取ることができるようにする。 長文の漢文に読み慣れ、漢文を読解し鑑賞する能力を身につける。項羽をはじめとする登場人物の描かれ方を考察し、その人柄を理解する。
2 学 期 中 間 考 査		
11 、 12	日記(古文) 『土佐日記』『蜻蛉日記』 『更級日記』 中国の文章(漢文) 『桃花源記』『送薛存義序』	日記に慣れ親しむ。また、作者の心情や社会的背景を知り、作品を味わって読む態度を養う。 それぞれの筆者の考え方・生き方を理解する。また各文章の現代的意義を考え、学習者各自の言語表現に役立てていく。
2 学 期 期 末 考 査		
1 、 3	物語(古文) 『平家物語』『大鏡』 中国の思想(漢文) 『孟子』『老子』『莊子』『韓非子』	「軍記物語」「歴史物語」について、その内容の概略と文学史的な意義を理解する。 それぞれの思想を、学習者自身の考え方や生き方に生かす契機とし、また現代的意義についても考えていく。
学 年 末 考 査		

